

創作キャラ装い盛り上げ

スズキ自動運転車披露

浜名湖花博2024の会場となる「はままつフラワーパーク」

（浜松市中央区）と「浜名湖ガーデンパーク」（同）で21日、来場者を楽しませるショーや園内を走行する自動運転車が報道陣に公開された。23日の開幕を控え、おもてなしの準備が着々と進む。関連①面

浜名湖花博2024

文化芸大生デザイン



①青野未和さんと青山瑠夏さんが車体のイラストを描いた「のたね号」と「のたね号」の2種類。②「のたね号」に描かれた「てんてん」号と「ウグリス」号、ガーデンパークのキャラ「のたね」 21日、浜松市中央区村楠町の浜名湖ガーデンパークで



浜名湖ガーデンパーク 1人乗りの「のたね号ミ」の2種類。 （会期は4月6日～6月2日）で公開された園内を走行する自動運転車。車体のイラストは地元の静岡文化芸術大の学生が担当。担当した2人は「花博を盛り上げる手助けになれば」と声をそろえる。自動運転車は、スズキの小型車とハンドル形電動車いすに自動運転機能を加えた3人乗りの「のたね号」、同大の教授が花博のロゴマークを手掛けた縁で、学生らがイラストを担当。青野未和さん(22)は、ナナホシテントウをモチーフにしたオリジナルキャラクタ「ウグリス」を考案した。カラフルな帽子をかぶって空に羽ばたく様子を表現し「躍動感のあるデザイン。ワクワク感が伝われば」と願った。 （戸田稔理）